



くまさん倶楽部

〈編集発行〉熊本日日新聞西部販売(株)
八代市田中西町19-2
TEL0965・34・5151
<http://www.kumasanclub.com>
E-mail:kumasan@kumasanclub.com

445号
2017.9.1



〈写真〉田中のり子（撮影場所：小川町海東）

支えあおう熊本

いま心ひとつに

2. 八工高 災害用調理コンロ製作・
機械科 第50回 八代くま川祭り
3. 八千把校区 納涼夏まつり・
第9回 まつたかふれあい夏まつり
4. 八代のヒーロー
彦一っちゃんのとんち話
5. ぶれすけ絵ハガキコンテスト表彰式を開催
スミちゃんのワンポイント防災
6. インフォメーション・I LOVE PET
7. くまさん Jr. News
8. 村長さんの旅日記・
熊日新聞本社見学ツアー

七ッん

お客さま第一主義

熊日新聞朝刊と一緒にお届けします！
配布エリア/代陽・八代・松高・八千把・
郡築の5校区

オリジナルプリントグッズ

57mm 缶バッジ スタンプ 始めました!!

缶バッジ
ミラー キーホルダー
缶バッジ
マグネット

グッズ類も
1点から製作OK!

イベントや応援・グループにはやっぱりコレ!
オリジナルウエアプリント

熱転写プリント・シルクスクリーンプリント
単色〜フルカラーまで対応!
1枚〜製作OK!

文字・イラスト・写真等ご希望のプリント内容に対応!
ご予約に応じてプリントサイズやウエア選びのご相談承ります
ウエア持込み歓迎 ★ 最速当日仕上げ可
※持込条件有る場合がございます ※午前受付セッション等一部のり

小ロット
キッププリント
始めました

八代工芸 (松高小前 / 八代高校側)
TEL・FAX 0965-35-1380 八代工芸ブログ (記事)
営業時間 9:00~20:00 定休日
(3月のみ 18:30まで) 第2第4日曜日

※枚数やプリント箇所、デザインによって料金は異なります

あなたの秋は、何色を選びますか。

- 毎週木曜日 白髪染め 3,675円
その他のカラー 10%OFF
- 平日 9:00~15:00までは、
まつ毛パーマ 1,080円
- 技術料 10%OFF
- ※ 他の割引券との併用は出来ません。

プラスワン美容室

PLUSONE

八代市出町8-17 プラスワンビル2F
TEL0965-33-0190
<http://www.plusone-group.com>

切り取ってお持ちください。(9/30まで)

★熊日新聞ご購入のお申し込みは… 0120-249021



災害用調理コンロは、高さ73センチの円筒形。ガソリンスタンドから譲り受けたペール缶2個を縦につなぎ、中にL字型のステンレス筒をはめ込みペール缶との間を断熱材で埋めたもの。下の突き出た部分に薪を入れ着火

●● 温かい食事で安心を ●●

八工高 災害用調理コンロ製作
機械科

大佛寺町の八代工業高校で8月8日、災害用調理コンロ（ロケットストーブ）の寄贈式が行われた。ガスや電気を使わなくても温かい食事が取れるようにと、機械科3年生の7人が課題研究で製作。避難食の研究に取り組んでいる中華料理「太楼」の武部小太郎さんの依頼で実現し、2基を同店と植柳校区自主防災会に寄贈した。



▲調理中のコンロに薪を入れる生徒ら（試食会にて）

すると、断熱効果で高温になり上昇気流の発生で燃焼が進む仕組み。円筒の上部に鍋などを置いて調理する。試食会を開いた際は、50人用の鍋を使い30分で100℃以上に炊き上がったという。

製作した吉川大貴さんは「規定のサイズ通りに筒をはめ込むのに苦労した。災害の時に、温かいものを食べて安心して欲しいという気持ちで作った」と話し、指導にあたった永吉要一先生は「常に何か人のために役立つことを考える人間になって欲しい」と話してくれた。

第50回 八代生山祭り

熊本地震復興祈願

8/5(土)

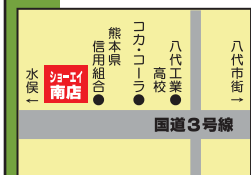
熱く踊って燃えました!!



車検の
ショーエイ本社工場

営業時間 ● 8:00~18:00
〒866-0851 八代市昆舎丸町1-3

Tel 32-6311 日・祝み



車検の
ショーエイ南店

営業時間 ● 8:00~18:00
〒866-0072 八代市高下西2183-1

Tel 39-8911 日・祝み



3つのコースからお選び下さい

早めの予約がお得です。3ヶ月前から予約OK! 詳しいことはお電話で

経済コース 安心コース 万全コース

自動車保険・钣金・塗装・中古車販売など

車のことなら何でもご相談ください
人に安心、車に安全。
九州運輸局指定民間車検工場
特定自主検査登録工場





まだ間に合う受験対策!

いつでも**1週間**の
無料体験
ができます!

中3 志望校合格を確実にする
日曜特訓講座・共通対策講座
小6 いよいよ9月からスタート
八代中受験4ヵ月講座
ほかの学年も随時無料体験受付中!!



熊本ゼミナール
八代校 〒866-0875 八代市横手新町14-16 TEL(0965) 35-0001(代)

キミも「笑顔の熊ゼミ」で成績アップ!

これから本格的に勉強を始めるみんなを熊ゼミが全力で応援します!

2017年度合格実績
今年も合格者数圧倒的 No. 1!
八代高...51名 **1**
県立中受験なら断然熊ゼミ!
第1期生から9年連続 No. 1!
八代中...33名 **1**



八代地方に昔から伝わる民話「彦一とんち話」を、八代のゆかりの地と共に紹介します。

【第26話】(最終回) 「茶の実」

むかし、八代の城下町のはずれにある《出町》という町に、彦一という、それはそれはとんちの得意な男の子が住んでいました。

さてある日のこと、彦一は《出町》の庄屋さんの家を訪ねます。庄屋さん、気はいいのですが、いつもなんだか困ってばかりいます。その日もやっぱり困っています。

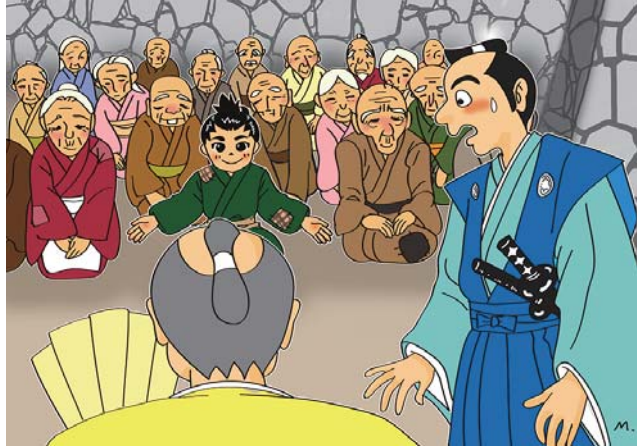
「庄屋さん、またどぎやんしなつたのですか?」

「おー、彦一。あんだろが、殿さまから『茶の実ば出せ』て言われとるばつてん、こん町に茶の実なんのなかけん、どぎやんしようか悩んどつたとこたい」と庄屋さん。

そのころ茶の実、油をつくる原料として使われていました。

彦一は、そんな庄屋さんにケロツとこう言います。

「『ちやのみ』なら、どしこでんあつじやなかですか。オイラがあつむるけん、心配なか」
そうして何日かのち、彦一は



イラスト/真樹

「そぎやんな。たしかに年寄りには国の宝。いたわつて、ほうびぼとらせんば。ワシはそぎやんこつもすつかり忘れとつたばい」
殿さまは、彦一がつれてきたおじいさん、おばあさん、さらには《八代》のお年寄りみんなに、ごほうびを与えるよう、役人に言いました。
「ところで、そんな小僧



《再話 森山 学》
ほうびでんやんなるに違いなか、て思ったもんだけん、喜んで『ちやのみ』どもば連れて来たつです」
困り果てた役人はかわいそうに、頭をかかえて殿さまのもとへ。
役人から話を聞いた殿さま、

八代城の《大手門》へとやって来ました。しかも30人ほどひきつれて。役人が表へ出て、「おもてをあげよう!」
と言いますと、30人がさげすいた頭をあげました。
それを見た役人はビックリ! 30人全員が、おじいさんとおばあさんなのです。役人は、おそるおそる彦一に聞きます。なせ、ウワサのとんち小僧ですから、何をしでかすかわかりません。

「彦一、茶の実はどこにあつとか」
「お役人さま、よーご覧ください。」
「おばあさんが『ちやのみ』ですばい。みんな、もう80才ばこえて、なせ朝から晩まで茶ばつか飲んどらすとです。今日は、殿さまがきつとお年寄りばいたわつて、ごほうびでんやんなるに違いなか、て思ったもんだけん、喜んで『ちやのみ』どもば連れて来たつです」
困り果てた役人はかわいそうに、頭をかかえて殿さまのもとへ。
役人から話を聞いた殿さま、



▲八代宮参道の真ん中付近が大手門跡

の名はなんと申す?」
「たしか彦一と申します。なんともとんちが得意というウワサです」
「彦一か...」
殿さまがニヤリと笑います。
これが殿さまと彦一の運命の出会いです。二人はこれから、たくさんのお話をくりひろげていくこととなります。



森山 学 / もりやま まなぶ
熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科 教授。
石川県生まれ。八代歴17年。建築の歴史とデザインが専門。教育・研究のかたわら、歴史と文化を活かしたまちづくりを通じて、彦一とんち話のとりこ。彦一フェスタ、彦一商店街、こども彦一プロジェクト、八代ひこいちDONなどに携わる。

Webショップ「にがおえ屋 真樹」

漫画制作に10年間携わった後、TMCキャリアアップスクールにて「漫画のアトリ工講座」こども向けのアート教室「ジュニアアート」の講師。
2014年よりくまさん倶楽部「心を添える大人のマナー」にて挿絵を担当。Webショップにがおえ家を営む、小学生(息子)と幼稚園(娘)を持つ二児の母。



*プロフィール

八代地方人会 地域社会貢献事業

第6回 Zei税ウォーキング in やつしろ 参加者募集!!

日時/ **9月24日(日) 9:45~15:00**

集合場所/ **八代商工会議所**

内容/ 緑の回廊と八代城跡をウォーキングしながら税のクイズに答えて感想を絵はがきに描いてね!

対象/ **小学4~6年生(2~5人のグループ)**と保護者1名 ※保護者が参加できない場合は相談可。

参加費/ **無料(昼食付)** 水筒・帽子・タオル・敷物は持参。

申込・問合せ/ **申込締切9月11日(月)** ※詳細はお電話にて(平日9:00~17:00)

公益社団法人 八代地方人会 事務局 Tel.32-1393

お申し込み受付中!!

熊本県の高校受験を徹底サポート
2017年夏期特別号

中3クラブ

《年12回発行》
熊日読者に**無料配布**

高校進学をめざす中学生がいらっしゃる熊日読者宅に、入試予想問題集・熊日「中3クラブ」を無料配布しています。

熊日のご購読・中3クラブのお申し込みは ▶▶ 当販売センターまで



入賞者に賞状を渡す平岡八代支社長

八代西販売センター賞



▲入賞した村上さん(左)と菊池さん親子

【八代西販売センター賞】

- 菊池 まるせさん (ゆかり乳児保育園)
- 村上 愛菜未さん (郡築小学校 6年)

おめでとう!

2017 ぶれすけ絵八ガキコンテスト

★★★表彰式を開催★★★

応募総数2441点 入賞22点

さる7月30日、熊日のキララクタ「ぶれすけ」と八代をイメージしたイラストを組み合わせた「絵八ガキコンテスト」の表彰式が、新町のやつしろハーモニホールで行なわれた。

このコンテストは、平成24年から行われているもので今回で6回目。

八代地区の熊日9販売センターの企画。4月下旬から5月末までの間、同地区の園児や児童から計2441点の応募があった。募集期間中は、ぶれすけも販売センタースタッフらと各幼稚園・保育園にPRに回った。



▲入賞した皆さん

八代絵だよりの会代表の岸部孝子さんとぶれすけ誕生にかかわったデザイナー増田彩さんが審査。入賞22点を選んだ。熊日賞、八代支社賞、八代店主会賞、各販売センター賞などの上位入賞者に賞状と賞品が手渡された。

入賞作品は7月31日から8月6日まで、ゆめタウン八代で展示された。

Point!

スミちゃんのワンポイント防災⑥

防災アドバイザー 隅川 勝則

元消防士で、現在、防災アドバイザーとして、市民の防災意識の向上や啓発のために奔走する隅川勝則氏に、日頃の防災に役立つ知識や情報を分かりやすく紹介していただきます。

大雨災害から身を守る！ 災害をもたらす大雨の違いとは？

●局地的大雨

一つの積乱雲が突然！急激に発達しながら黒く変化、予報もできない短時間に限られた範囲に大雨をもたらす、河川の急激な増水と共に雷、竜巻、雹(ひょう)が発生。突発的な人命の危険となる気象現象をもたらす。(ゲリラ豪雨)

- 安全対策：雲の色が急激に変化しようとしている時
- ・屋内では、雨戸やカーテンを閉め、コンセントを抜き窓ガラスから離れる。
 - ・屋外では、ビルなど丈夫な建物内へ避難。地下に居る場合は浸水で危険が及ぶため、直ちに上層階へ避難。
 - ・橋の下や用水路に近づかない。水が溜まっている所やアンダーパスなどへ人・車は進入しない。
 - ・雷雨の時は、建物内や車へ避難。橋の下や木の下には絶対避難しない。(給油所は安全！)
 - ・川遊びや釣り中では直ちにやめ、急激な増水危険から高台へ避難。
 - ・河原でキャンプの時は、テントを高台に移動して周りに溝を掘る。
 - ・竜巻の時は、プレハブ造りには絶対避難しないこと。地下や1階部分か、屋外ではくぼみに緊急避難。

●集中豪雨

積乱雲が同じ地域で次々に発生する「線状降水帯」の形成から、「河川の氾濫」、「土砂災害」、「深層崩壊」など甚大な被害を及ぼす。

- 安全対策：空振りでもよいので早く避難する
- ・山地災害危険地区や土砂災害警戒区域では、防災情報や前兆現象から早めの避難
 - ・堤防決壊や内水氾濫の危険から早い避難、2階以上の建物への緊急垂直避難

夏休みの宿題 ◆◆ 地域ぐるみで応援

松高校区

地域ボランティアによる「夏休み宿題応援隊」が、8月17日から30日(土・日除く)まで松高コミュニティセンターで開かれた。小学生の夏休みの宿題を、涼しい場所で見ながら効率的にできるのではないかと、松高校区民生委員・児童委員らが主催。今年で3年目。

期間中は30〜40名の子ども達が、夏休みのドリ

ルや自由研究などの宿題を持ち寄り、地域の方や周りの友達に相談しながら取り組んでいた。

民生委員・児童委員会長の岡村國男さんは「この勉強会も3年目をむかえ、子ども達にも定着してきた。これから



もいろいろな企画を考え、地域の繋がりを大切にして話していた。

図書館シネマ 名作映画鑑賞会

★上映『ミツバチのささやき』 **《入場無料》**

【1973年 スペイン】99分

’73年サン・セバスチャン国際映画祭金の貝殻賞(グランプリ)、
’73年シカゴ国際映画祭シルヴァー・ヒューゴー特別賞ほか受賞
監督・原案：ピクトル・エリセ 出演：アナ・トレント
スペインの小さな村に「フランケンシュタイン」の巡回上
演がやってくる。6歳の少女アナはスクリーン上の怪物を精
霊と思いつむ。姉から怪物は村外れの一軒家にいると聞いた
アナはその家を訪れ、そこで一人の負傷兵と出会う。

日 時／9月10日(日) 14:00～

場 所／八代市立図書館2階 大集会室

第56回熊本総合病院 市民公開講座

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)

～長く健康に動けるように～ **《入場無料》**

講師：熊本総合病院
整形外科副部長 小田 勇一郎 医師

日 時／9月13日(水) 18:00～19:00(受付17:30～)

場 所／熊本総合病院14階 熊本総合病院ホール

定 員／100名

※事前のお申込みは不要。直接会場へお越しください。

問合せ／熊本総合病院 総務企画課

TEL.32-7111(代)

平成29年度「人権おもいやりミニ講座」

受講者募集!! **《参加無料》**

～みんなでさまざまな人権について
考えてみませんか?～

日 時／9月16日(土) 10:00～

場 所／肥後銀行八代支店 セミナールーム

【第4回】職場・地域社会の中の人権啓発

講師：熊本県人権センター講師
脇田 五典さん

※内容・会場等は変更になる場合もあります。

申込み先／八代市人権啓発センター

(人権政策課・千丁庁舎3階)

TEL.30-1711 FAX.46-1950

※お申込みは、電話またはFAXにて、お名前・住
所・電話番号などお知らせ下さい。(随時受付中)

県営八代運動公園《9月行事予定表》

(平成29年8月21日現在)

- 3日(日)：第62回秋季軟式野球大会
- 4日(月)：九州軟式野球連盟秋季リーグ
- 9日(土)：九州地区ロータリークラブ野球大会
- 10日(日)：南九州リーグ公式戦
- 16日(土)～22日(金)：第141回九州地区高校野球熊本大会
- 21日(木)：八代中体連総合体育大会(陸上競技)
- 23日(土)：第49回八代少年スポーツ大会(陸上)
- 30日(土)：第50回九州地区高校軟式野球熊本大会

《詳しいお問い合わせは、県営八代運動公園 TEL.37-0006》

注：行事は主催者の都合により変更になることもあります。

フォトセミナー開催

日 時／9月23日(祝) 13:30～16:00

場 所／代陽コミュニティセンター 2階 研修室A

参加費／お一人様1,000円(お飲み物をご用意いたします)

講 師／写真家 長谷川 純一 先生

(国際文化カレッジ・フォトマスター検定エキスパート取得)

申込み先／Pink Tree(旧 カメラのかどなが)

TEL.34-2902(本町3-3-16)

〈月～土/9:00～19:00・日祝/10:00～17:00〉

平成29年度伴走型小規模事業者支援推進事業
八代商工会議所があなたの起業・創業をお手伝いします

「創業塾」受講者募集!! **《参加無料》**

日 時／10月7日(土)・8日(日)・14日(土)・15日(日)
9:30～16:30 (4回の受講)

場 所／八代商工会館(松江城町6-6)

講 師／㈱Biz Assist 代表取締役 森田 欣典 先生

定 員／30名(先着順)

対 象／八代市内で創業または第2創業を目指す方

申込み期限／9月22日(金)

申込み先／八代商工会議所(土田)

TEL.32-6191 FAX.34-1617

【受講特典】本セミナーは、産業競争力強化法に基づく「特
定創業支援事業」です。受講された方は、登録免許税の軽
減措置、信用保証枠の拡大等の支援策が適用されます。



I LOVE PET



ドライブが大好きです。
ご主人の休みの日を楽しみにして
います。

モグくん(3歳・オス)
★ミックス
山下 正人さん(郡築一番町)



グレースちゃん(6歳・メス)
★パグ
くにちゃん(八代市内)

じいじ、ばあばに甘やかさ
れているから、こんなに太っ
ちやいました。

くまさん Jr News 12号

環境にもやさしい工場

— 日本製紙八代工場見学 —

8月9日(水)に日本製紙株式会社 八代工場に子ども記者7名で、工場見学に行ってみました。

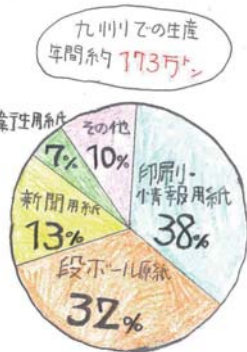
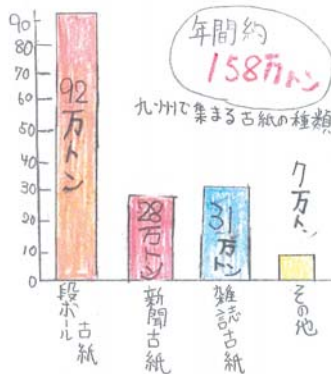
日本製紙八代工場は、大正13年(1924年)九州製紙として、誕生しました。面積は、33万坪東京ドーム7個分です。働く人の人数は、300名です。

また、未利用チップを活用してバイオマス発電を行なって約1万世帯の分の電気を送っています。

九州では、1年間に150吨くらゐの古紙が集まっています。一部は中国などへ輸出されますが、多くは九州の製紙工場が使われます。いまや古紙は、紙を作るのに欠かせない大切な資源となっています。

古紙が集まるの??

九州では、1年間に150吨くらゐの古紙が集まっています。一部は中国などへ輸出されますが、多くは九州の製紙工場が使われます。いまや古紙は、紙を作るのに欠かせない大切な資源となっています。



- 日本製紙は市民や環境のためにいろいろな取り組みをしています。
- ①排水処理
- 日本製紙では、1材間に270もの水を使います。しかし、それもきれいにして、また川に放流しています。
- ②排気処理
- 法規制よりも更に厳しい値で取り組んでいます。
- ③地域貢献
- ④グラウンド・体育館の無料開放
- ⑤重祭りなどのイベント
- ⑥清掃ボランティア
- ⑦くま川祭りなどの地域のイベントに積極的に参加



▼紙の原料となるパルプとチップ



- Q 紙以外になにかできていますか?
- A 紙以外に電力が作られています。
- Q 全国にどれだけ工場がありますか?
- A 十五ヶ所ある。
- Q 日本製紙で作られている紙は日本全体で何割?
- A コピー用紙・・・三割 新聞紙・・・三割強
- Q 前坂本に工場があった場所は今、何がありますか?
- A わいわいパークになっています。
- Q 全国で八代はどれだけ大きいんですか?
- A 生産量では3位です。一日でどれくらいトラックが来ますか?
- A 述べ四百八十台
- Q 日本製紙では何種類の紙を作っているのですか?
- A 八代では百二十種類前後
- Q 八代工場には大きな機械がありますか?
- A 新聞用紙では日本一大きなN2マシンがあります。
- Q 八代の工場には何人の人が働いているのですか?
- A 三百一人の人が働いています。昔は千五百の人が働いていました。
- Q 毎年、夏祭りはあるのですか?
- A 毎年八月にあります。今年は八月二十二日の午後五時半からあります。
- Q 紙をとかしインクをうかせるときの、薬品はどのようなものがありますか?
- A 脱びく剤(インク除去) 苛性ソーダ(漂白) 過酸化水素(漂白)

村長さんの旅日記

時代の流れは早い。私が若かりし頃は、こんな歌が流行っていた。

「あなたと2人で来た丘は 港の見える丘…」

これは、関東は横浜の外人基地近くの丘に登ると目の前に港が見え、外国からの客船が波止場に着いているのがわかり、ロマンチックな雰囲気がある漂う絶好のデート場所だったのだ。

当時はまだ海外旅行も盛んではなく、舟に乗って行く海外旅行が一般的で、お金持ちならともかく貧乏人は貨客船で地下の狭い船室を利用、ことによっては旅の間、船の



▲木が繁った散歩道(港の見える丘公園)

中でアルバイト(甲板の掃除や食堂の皿洗いなど)をして、稼ぎながらヨーロッパの旅へ行ったものだ。

そんな横浜の今を、今年1月中旬、久しぶりに旅をしたら、なんと港の見える丘からは港が見えなくなっていた。ただ、さすが港町。昔から港は外から人が入って来る場所として様々な人種がいて、それが魅力なのだが…それは今も同じで、関東の横浜、関西の神戸がその代

RKKラジオ「こちら九州ラジオ村」毎週月曜日 19:30~20:10 好評放送中!



海とこの丘の間は、高架高速道路が走り景色を遮っていた。デートの後現代は中国、韓国からのお客が圧倒的に多く、町の中ですれ違う人の言葉を聞いてみると、日本にいないのかな?と錯覚を起こすのは熊本をはじめとして全国同じ。



▲公園下まで地下鉄で行ける



昔、フランス領事館があった場所と風車の塔(井戸水くみ上げ用)。近くには、小さなホテルが建っていた。ご紹介いたします。

楽しく見学! 新聞ができるまで 熊日新聞本社見学ツアー

夏休み中の小学生を対象とした「熊日新聞本社見学ツアー」が、8月8日、熊日八代店主催で開催された。ツアーには、八代市郡の各小学校より児童33名が参加し、うち西部エリアからは7名が参加。朝10時30分、保護者に見送られ、熊本市中央区世安町の熊日新聞本社を目指して元気に出発した。



昼前に到着した一行は、本社研修室で用意された弁当を美味しく食べて、その後、早速、見学のプログラムがスタート。まずDVD鑑賞では、記者たちが読者の暮らしに密着したニュースや話題を取材するところから始まり、編集、印刷、発送、配達までの工程を映像で学んだ。その後、参加者は2班に分かれ、編集局や印刷をする回転機械室、巻き取り紙保管室などを見学し、各担当者から説明を受けたり逆に質問をしたりして、熱心にメモを取る参加者もいた。水野雅治くん(小3)・陵馬くん(小2)兄弟は「新聞ができるまでを詳しく知ることができて、とても良かった」と口を揃えて話してくれた。

見学の最後は、本社2号館の5階にある新聞博物館へ移動。館内には、新聞の歴史や歩みについての多数の写真、新聞が出来上がるまでの「製作工程コーナー」などが展示され、特に昨年4月に発生した熊本地震で、地震直後からこれまでに至る被害や被災地の状況写真や、震災で倒れたままの状態が残してある活字棚と散乱した活字を見て、参加者は当時の地震の恐怖を体験した。今回、見学ツアーに参加した有吉優樹くん(小4)・優衣さん(小4)らは「熊日新聞のことが良くわかり、楽しく見学できた。参加して本当に良かった」と元気に話してくれた。全ての見学を終えた一行は、くまTOMO編集部からの説明とお土産をもらい、参加者全員で記念撮影をしたあと、八代への帰路についた。

主催した同店主催では、「くまTOMOサポーター」への参加も募集しており、今後いろいろな企画で熊日新聞に興味を持ってもらいたいと締めくくった。